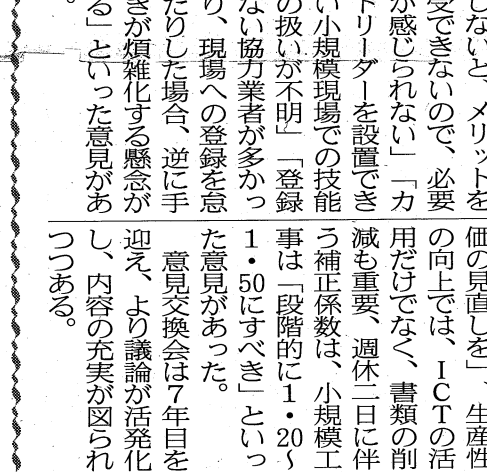


一般社団法人
全国中小建設業協会
編集発行人 河 崎 茂
〒104-0041 東京都中央区新富2-4-5
URL <http://www.zenchuken.or.jp/>
電話 03(5542)0331(代表) F A X 03(5542)0332



中小工事ICTの課題浮き彫りに

今年度の意見交換会

は、6月に就任した土志田領司会長を始め、新役員が主導した初めての開催となる。国土交通省、地方公共団体の出席を得

愛知ブロックでは、特に中小規模工事のICT施工の問題点にスポットが当たった。意見の趣旨は、受注者側と発注者側高額で、導入に至って、

彼らを解決することが、受注者側の問題として、「ICT初期投資

滑に確保ができるか懸念される」との意見には、不足している状況があれば、「情報提供を」と呼びかけた。

一方、発注者側の問題には、受注者側の問題と同様に、設計単価が現像サイドと大きく乖離している点を指摘。土木工事であれば細分化した土量

の積算基準の設定などの対策が必要」「3次元施工管理・出来形管理は、

CCUSには、多くの意見が寄せられた。「すべての事業者と現場が登期設定と積算段階での代

えなから、唐知徹底などに取り組む姿勢を示している。

「窓」を各市中一本化してくれば受け入れやすい」との意見もあった。

治体に内容の周知徹底を」との要望があった。以上、研修のしようが国交省は、前向きにとらなく厳しいと指摘。また、外国人受け入れでは、

り方をもっと明確に」
「国がしっかりと地方自
し、多能工という枠がな

新・担い手三法について、
「発注者責任のある、たとえば多能工などの土工としての研修範囲を広げてもらいたい」といえる。

国交省は、普及を図るのが第一であり、普及することでメリットも出てくるとの見方を示した。問題意識を共有して議論しようとしている。

した。登録支援や現場開設支援も実施している。

中部ブロックでは、「若者の獲得に有用なシステムと思う。学生への積極的なPRを」との要望があった。

黒田本部長は、これまで全国の高校を回り、講習会を開いてきたという。講習会を開いた学校は建設業へ入る割合は高いが、「先生からすると、教え子を建設業に送り出すのは不安もあるようだ」と分析。「CCUSは、新しい建設業へ脱皮するための第一歩になると先生方には話している。若者が入ってこられるようなシステムになるよう推進していきたい」と今後を展望した。

令和元年度の意見交換会で、新たな試みとして注目されるのは、建設キャリアアップシステム（CCUS）の説明会を開催したことだ。運営主体の建設業振興基金による説明の場を設けた。中部では黒田憲司建設キャリアアップシステム事業本部長、関東では横田正文同副本部長が講師を務めた。

CCUSは、技能者の資格や社会保険加入状況、現場の就業履歴などを業界横断的に登録・蓄積するシステム。若い世代にキャリアパスと処遇の見通しを示し、将来にわたって

担い手を確保する仕組みとして期待されている。今年4月に本運用を開始した。

しかし、中小建設業への浸透と理解は今一つの感があり、不安を口にする中小企業も少なくない。そこで意見交換会で説明してもらおうと企画した。

2人の講師は、C・C・U・Sの概要から登録・利用手順、元請け企業が得られるメリットなどについてわかりやすく解説。山梨・福岡・長野での登録企業の総合評価での加点や経営事項審査の加点など、優遇措置の動きも紹介

公共事業の推進をサポートし、地域社会の創造に貢献する



 **西日本建設業保証株式会社**
WEST JAPAN CONSTRUCTION SURETY CO.,LTD.

〒550-0012 大阪市西区立売堀2-1-2(建設交流館) 電話 06(6543)2553

支店／東京・名古屋・大阪・滋賀・京都・奈良・和歌山・兵庫・
鳥取・島根・岡山・広島・山口・香川・徳島・愛媛・高知・
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

中小工事のICT施工で議論白熱

愛知ブロック意見交換会

全国中小建設業協会の愛知ブロック意見交換会は10月18日、名古屋市愛知県土木会館で開催された。国土交通省本省、中部地方整備局、愛知県建設業調整官、営繕部の都築克己営繕品質管理官、オプザバーとして建設部から栗本真建設産業課課長補佐、山岡慎太郎建設産業課連携推進係長の7名が出席した。

また、愛知県からは建設局土木部建設企画課から藤田泰弘課長、上田敏隆主幹、松浦元彦課長補佐、武井孝課長補佐の4名が出席した。

一方、全中建設は、愛知土木研究会から朝日

啓夫会長を始め26名、愛知建築技術研究会から水野恒平会長ら5名、愛知県建築技術研究会から大矢信明会長と杉山修次事務局長が出席。本部長からは土志田領司会長、河崎茂副会長、小林俊正専務理事らが参加した。

開会に際してあいさつに立った土志田会長は、国土交通省、愛知県の出席者に感謝の言葉を述べた上で、台風15号と19号災害にもふれ、「いま、われわれの仲間が活動し、懸命に応急復旧へ貢献している最中だ」と語り、災害の最前線で活動している地域の建設業をねぎらった。

愛知土木研究会の朝日啓夫会長(土木)は、この度の台風災害を見て、国土強靱化に基づく事前防災の重要性を認識した。恒久的な公共事業予算の重点的な配分をお願いしたい。また中小の人手不足は深刻だ。新制度による国家試験は、令和3年度からとの話があるが、中小にとつて2年はきつい。一日も早い施行を期待する。

その上で「建設業は、働き方改革、生産性向上、担い手確保など再構築へ大きく舵を切っている。建設業から建設産業界へ脱皮する必要がある」と強調。「ここで出た意見は、行政に働きかけて改善を要望していく。そのためには実りある議論をしていただきたい」と期待を示した。

続いて朝日会長、水野会長、大矢会長があいさつ(別掲)。このあと、西山室長が「建設業行政の最近の動きと課題について」と題して講演。関連記事3面、続けて意見交換に入った。

意見交換会には、国土交通省から土地・建設産業局建設課の西山茂樹入札制度企画指導室長、

また、愛知土木研究会からは、建設局土木部建設企画課から藤田泰弘課長、上田敏隆主幹、松浦元彦課長補佐、武井孝課長補佐の4名が出席した。

一方、全中建設は、愛知土木研究会から朝日

啓夫会長を始め26名、愛知建築技術研究会から水野恒平会長ら5名、愛知県建築技術研究会から大矢信明会長と杉山修次事務局長が出席。本部長からは土志田領司会長、河崎茂副会長、小林俊正専務理事らが参加した。

開会に際してあいさつに立った土志田会長は、国土交通省、愛知県の出席者に感謝の言葉を述べた上で、台風15号と19号災害にもふれ、「いま、われわれの仲間が活動し、懸命に応急復旧へ貢献している最中だ」と語り、災害の最前線で活動している地域の建設業をねぎらった。

愛知土木研究会の朝日啓夫会長(土木)は、この度の台風災害を見て、国土強靱化に基づく事前防災の重要性を認識した。恒久的な公共事業予算の重点的な配分をお願いしたい。また中小の人手不足は深刻だ。新制度による国家試験は、令和3年度からとの話があるが、中小にとつて2年はきつい。一日も早い施行を期待する。

その上で「建設業は、働き方改革、生産性向上、担い手確保など再構築へ大きく舵を切っている。建設業から建設産業界へ脱皮する必要がある」と強調。「ここで出た意見は、行政に働きかけて改善を要望していく。そのためには実りある議論をしていただきたい」と期待を示した。

続いて朝日会長、水野会長、大矢会長があいさつ(別掲)。このあと、西山室長が「建設業行政の最近の動きと課題について」と題して講演。関連記事3面、続けて意見交換に入った。

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)



この度の台風災害を見て、国土強靱化に基づく事前防災の重要性を認識した。恒久的な公共事業予算の重点的な配分をお願いしたい。また中小の人手不足は深刻だ。新制度による国家試験は、令和3年度からとの話があるが、中小にとつて2年はきつい。一日も早い施行を期待する。

地域の守り手である中小建設業の重要性を認識していただく必要がある。建設業は人が財産である。認知度を高めることで、若者の入職につなげたい。だが現実には厳しい。建築を通じて愛知県の安全・安心の確保へ貢献したい。我々も積極的に参加していきたい。

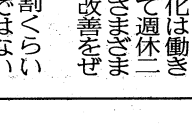
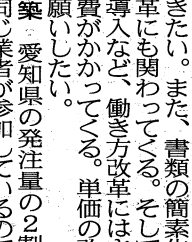
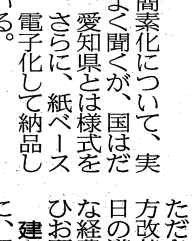
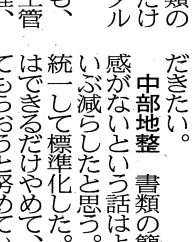
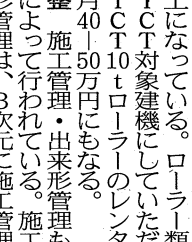
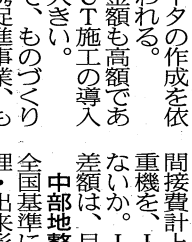
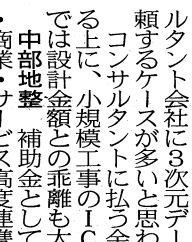
模工事のICT施工のあり方。普及に向けてどうあるべきかなどについて、熱心で白熱した議論が繰り広げられた(別掲)。

また、意見交換会の終了後、建設キャリアアップシステムについての講演もあつた。建設業振興基金の黒田憲司建設キャリアアップシステム事業本部部長が、システムの概要やシステムの活用で得られるメリットなどを解説。今後の取組なども紹介した。

閉会に当たって河崎副会長は、「本日の貴重な意見は、行政の施策に反映させることが大切で、全中建設の要望事項として国土交通省に提出したい」とあいさつ。

さらに「6月に成立した新・担い手3法を、自治体の隅々まで浸透させるよう、国土交通省には指導の徹底をお願いしたい」と要望した。

愛知土木研究会の朝日啓夫会長(土木)は、この度の台風災害を見て、国土強靱化に基づく事前防災の重要性を認識した。恒久的な公共事業予算の重点的な配分をお願いしたい。また中小の人手不足は深刻だ。新制度による国家試験は、令和3年度からとの話があるが、中小にとつて2年はきつい。一日も早い施行を期待する。



朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

水野恒平会長(建築)

大矢信明会長(舗装)

朝日啓夫会長(土木)

愛知ブロック、各会長あいさつ

朝日啓夫会長(土木)

いう声は、よく聞く。失礼な言い方になるかも知れないが、本気で議論していかないと、週休2日も生産性向上も、ましてや拍手確保は掛け声だけに終わってしまう。大変申し訳ないが、もう一度持ち帰ってほしい。大塚、よく検討してほしい。

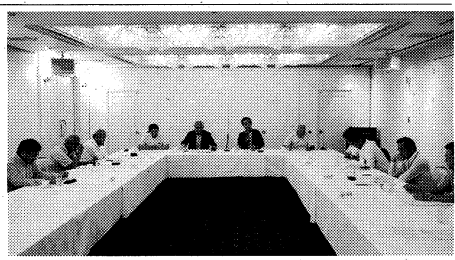
外国人受入れ新制度特別WG

変革をチャンスに

令和元年度の第2回外国人受入れ新制度特別WG（キンググループ）は、9月12日、東京・千代田区のKKRホテル東京で開かれた。新たな在留資格である特定技能に基づき外国人労働者の受け入れ事業を行う建設技能人材機構（JAC）が事業について講演し、意見を交換した。

外国人労働者の受け入れについては、会員企業の関心は高いものの、その一方で不安の声も少なくない。そこで会員企業が円滑に受け入れられる環境を整備しようと、労働資材対策委員会（田邊聖委員長）の下に、特別検討WG（佐久間一三ワ

キング長）を設置し検討することになった。WGでは、JACの江口大暁管理部長が「建設分野の特定技能外国人の受入れについて」と題して講演したあと意見を交換。受け入れ職種や家族の帯同、費用負担などについて質疑応答があった。



開会にあたって田邊委員長は、「建設技能人材機構に講演していただき、実りある議論をしていただきたい」とあいさつ。佐久間ワキング長は、「われわれの仕事に活かす、企業にとっても外国人にとってもいい制度にしたい」と語った。

外国人受入れ制度に対する関心の高さを証明するように、WGには田邊委員長、前会長の豊田剛理事も出席した。土志田会長は、「建設業界は今、働き方改革を始め、大きなつねりの中にある。外国人の受け入れもその一つだが、変革は見方を変えれば好機でもある。しっかり議論い

ただきチャンスに変えよう」とあいさつした。

品確法運用指針案で意見

振興対策委

令和元年度建設業振興対策委員会が9月24日、コートヤード・マリオット

品確法運用指針案で意見交換。建設業行政の最近の動きと題して講演。また改正された品確法の「発注関係事務の運用に関する指針」（改正指針案）に係る意見等の提出などについて報告があった。

開会に際し小野徹委員長は、「運用指針の改正は、一連の改正指針の骨子（案）について、短

時間で見解を出すのは大変だが、皆様の知恵を結集して検討していきたい。また、国交省には、われわれの現状にどれだけ沿ってもらえるのか、うかがいたい」とあいさつした。

委員会には土志田領司会長も出席。「国交省に対し、革命的な改革をお願いしてきた。働き方改革を始め多くの課題がある中、委員の皆様にご意見を伺う機会をいただき、10月からは始めるブロック別意見交換会での意見と一

令和元年度第4回通常理事会が9月6日、東京・銀座のコートヤード・マリオット銀座東武ホテルで開かれた。理事会では、10月から全国7地区で開催予定のブロック別意見交換会の開催（案）などを審議・報告。また、中小規模建設事業場向けの労働安全衛生マネジメントシステムであるコンパクトコスモスの講演もあった。

開催に先立ちあいさつで、土志田領司会長は、「災害が多発している中で、我々の仲間が全力で

復旧活動に尽力している。地域の安全・安心を守っているのは、地域の中小建設業者である」と強調。その一方で、「現場で

は長時間労働など厳しい環境にあり、福利厚生や安全管理には十分配慮しなくてはならない。6月には新・担い手3法が成立・公布された。職場環境を整備し、入職者を増やす努力をしていかなければならない」と続けた。

こうした状況を踏まえ、「今後は国に対して公共工事予算増額の確保、新担い手3法の地方自治体への周知徹底、工事発注の平準化、適正工期の設定、書類の簡素化などを訴えていく。働き方を改革し、新3K産業に向

ける積極的な取り組みを」と今後の方向性を示した。

理事会の議事となったのは、①令和元年度ブロック別意見交換会の開催（案）及び令和元年度アンケート調査について②危機的状況にある中小建設業者の窮状打開に関する要望について（案）③令和2年度税制改正に関する要望について（案）④会員加入について⑤外国人受入れ新制度にかか

第4回通常理事会

意見交換会(案)など審議

コンパクトコスモス講演も



令和元年度の第2回外国人受入れ新制度特別WG（キンググループ）は、9月12日、東京・千代田区のKKRホテル東京で開かれた。新たな在留資格である特定技能に基づき外国人労働者の受け入れ事業を行う建設技能人材機構（JAC）が事業について講演し、意見を交換した。

外国人労働者の受け入れについては、会員企業の関心は高いものの、その一方で不安の声も少なくない。そこで会員企業が円滑に受け入れられる環境を整備しようと、労働資材対策委員会（田邊聖委員長）の下に、特別検討WG（佐久間一三ワ

キング長）を設置し検討することになった。WGでは、JACの江口大暁管理部長が「建設分野の特定技能外国人の受入れについて」と題して講演したあと意見を交換。受け入れ職種や家族の帯同、費用負担などについて質疑応答があった。

開会にあたって田邊委員長は、「建設技能人材機構に講演していただき、実りある議論をしていただきたい」とあいさつ。佐久間ワキング長は、「われわれの仕事に活かす、企業にとっても外国人にとってもいい制度にしたい」と語った。

外国人受入れ制度に対する関心の高さを証明するように、WGには田邊委員長、前会長の豊田剛理事も出席した。土志田会長は、「建設業界は今、働き方改革を始め、大きなつねりの中にある。外国人の受け入れもその一つだが、変革は見方を変えれば好機でもある。しっかり議論い

（8月28日）について⑦石井国土交通大臣と4団体との意見交換会（8月29日）について⑧建設キャリアアップシステム運用について⑨今後の会議日程について⑩その他。

このうち懸案となっていたのは、①令和元年度ブロック別意見交換会の開催（案）及び令和元年度アンケート調査について②危機的状況にある中小建設業者の窮状打開に関する要望について（案）③令和2年度税制改正に関する要望について（案）④会員加入について⑤外国人受入れ新制度にかか

ける積極的な取り組みを」と今後の方向性を示した。

指定公共機関めざし検討

環境対策 災害時、最前線で応急復旧

令和元年度環境問題等対策委員会（委員長・河崎茂副委員長）が9月25日、協会本部で開催され、全

会議員は、災害応急対応業務「指定公共機関」への結集に向けた取り組みなどについて検討。防災業務計画（案）などについて意見を交換した。

建設業の経営状況分析のエキスパートとして30余年。

経営状況分析処理件数 **450** 万件以上

CIICには「安心・信頼」をお約束できる仕組みがあります。

経営状況分析の実施
国土交通省から認められた最新の分析機関（登録番号「1」）としての歴史と実績があり、経営事項審査にかかる経営状況分析業務（Y 評価）をデータの安全性を確保しつつ適正かつ公正に実施しております。

経営事項審査結果の公表等
国土交通省および都道府県からの委託を受け、各行政が審査した経営事項審査結果の公表を実施しております。

講演会等・調査研究(公益的活動)の実施
建設業関係の講演会や勉強会の開催および講師の派遣等も積極的に行っております。また、地域建設産業の在り方に関する調査研究を実施し、都道府県に貢献を行っております。

情報管理システムの提供
各行政が建設業許可および経営事項審査の情報処理に使用するシステムを提供しており、行政事務の適正かつ迅速な運営に寄与しております。

昭和63年からは経営事項審査を受審される建設企業の皆さまを対象に、経営状況分析を実施しております。業界一の実績と経験から、皆さまの厚い信頼をいただいております。

登録状況分析機関登録番号1

CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター (アドレス) <http://www.ciic.or.jp/> 又は **CIIC**

【東京本部】〒104-0045 東京都中央区築地2丁目11番24号(第29回和ビル7階) ☎03-3544-6803 ☎03-3544-6901 中部・北陸地区 ☎03-3544-6902

【北海道事務所】〒060-0004 札幌市中央区北4条西3丁目1番地(北海道建設会館6階) ☎011-222-2588

【西日本支部】〒640-0005 大阪府大阪市中央区上町4番12号(上町セイビル9階) ☎06-6767-2801 ☎06-6767-2802 近畿地区 ☎06-6767-2803 九州・沖縄地区 ☎092-483-2841

中小・中堅建設企業のみならず
ご活用ください!!

「地域建設業経営強化融資制度」 「下請セーフティネット債務保証」

～公共工事請負代金債権等を担保にした元請建設企業への融資制度～

「公共工事」や「社会全体の効用を高める施設に関する民間工事」を受注・施工されている元請建設企業が融資事業者※から工事出来高に応じて融資を受けることが出来る**国土交通省の制度**です。(詳しくは下記HPをご覧ください)

※全国の40カ所の建設業協同組合(株)北保証サービス、(株)建設経営サービス、(株)建設経営サービス

こんな悩みありませんか?

- 受注はあるけど資金繰りが厳しい!
- 担保になる不動産がない!
- 金融機関の借入枠に余裕がない!
- 経営のY評価をアップしたい!

一般財団法人 **建設業振興基金**

金融支援課 TEL 03-5473-4575

詳しくは <http://www.kensetsu-kikin.or.jp/saimu/index.html>

全中建 会員企業の皆さまのための福利厚生制度

全中建災害共済制度

は会員企業の役員・従業員の保障です!

<災害保障特約付団体定期保険>

○業務上・業務外を問わず24時間の死亡保障です。
※病氣・災害を問わず、お亡くなりになった場合の保障です。

○けがで5日以上入院した場合も保障されます。

○災害により所定の障害状態になった場合に保障されます。

○割安な掛金で大きな保障が得られます。

○ご加入を希望される会員企業ごとに全員加入です。

本制度のお問い合わせは
全中建事務局まで。
TEL: 03-5542-0331

引受生保
朝日生命保険相互会社(事務幹事)
メットライフ生命保険株式会社
三井住友海上あいおい生命保険株式会社

お申込みにあたっては、パンフレット、「特に重要なお知らせ(契約概要)(注意喚起情報)」を必ずご確認ください。
朝日-団-29-26-M (H30.2.8)

2019年度建設業経理検定(下期)試験のご案内

建設業経理検定試験

1級、2級合格者は、経営事項審査の評価対象の1つになっています

区分	下期試験 1級・2級・3級・4級
申込方法	インターネットまたは郵送による申込
申込期間	2019年11月15日(金)～12月17日(火)
試験日	2020年 3月 8日(日) [47都道府県主要都市で実施]
合格発表	2020年 5月11日(月)

一般財団法人**建設業振興基金**金融・経理支援センター(経理研究・試験)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 TEL 03-5473-4581

建設業経理検定WEB <https://www.keiri-kentei.jp/>

建設業経理検定 検索

